

環境経済学 2005 年前期 解答と集計結果

問 1

(1) コースの定理とは何か。地下水汚染を例にしながら経済モデル（図または数式）を用いて説明しなさい。（配点 20 点）

「取引費用がゼロであるとき、所有権の所在に関わらず、当事者間交渉によって外部効果を内部化することができる」(5)
地下水汚染の例による説明(5)

経済モデルによる説明(10)

グラフのみの場合(Max5)、軸や曲線の意味が示されていない場合(-2)

(2) 環境問題を裁判によって解決することの妥当性と限界点について、講義内容と経済実験の結果を踏まえながら具体的に論じなさい。（配点 20 点）

(A) 妥当性について(10)

取引費用がゼロの場合、所有権が汚染者と被害者のどちらの場合も利得が上昇

(B) 限界点について(10)

取引費用が発生する場合、情報が非対称の場合などによる交渉力の違いについて

問 2

(1) 環境税とは何か。経済モデル（図または数式）を用いて説明しなさい。（配点 20 点）

文章による説明(10)

- ◆ 汚染量に対して課金することで汚染を削減するインセンティブを与え、汚染を抑制する制度。
- ◆ 限界削減費用が税率と等しくなるため、すべての企業の限界削減費用が均等化される
- ◆ 税率によって削減量が異なるため、税率が低いと効果は少ない。
- ◆ 政府側には税収が得られるという利点が存在

経済モデルによる説明(10)

グラフのみの場合(Max5)、軸や曲線の意味が示されていない場合(-2)

(2) 排出量取引とは何か。経済モデル（図または数式）を用いて説明しなさい。（配点 20 点）

文章による説明(10)

- ◆ 排出許可証を市場で売買することで、汚染を削減するとあまった分を売却して利益となる仕組み
- ◆ 限界削減費用が排出許可証の価格と等しくなるため、すべての企業の限界削減費用が均等化される
- ◆ 排出権市場が完全競争でなければ、非効率的となる可能性がある
- ◆ グランドファザリングを導入することで企業側は初期コストを節約できるが、政府側の収入は得られない

経済モデルによる説明(10)

グラフのみの場合(Max5)、軸や曲線の意味が示されていない場合(-2)

(3) 環境税と排出量取引の関係を示しなさい。（配点 20 点）

文章による説明(10)

- ◆ 完全情報のもとでは、環境税と排出量取引とは同じ効果を持つ
- ◆ 不完全情報のもとでは、同じ効果を持つとは限らない

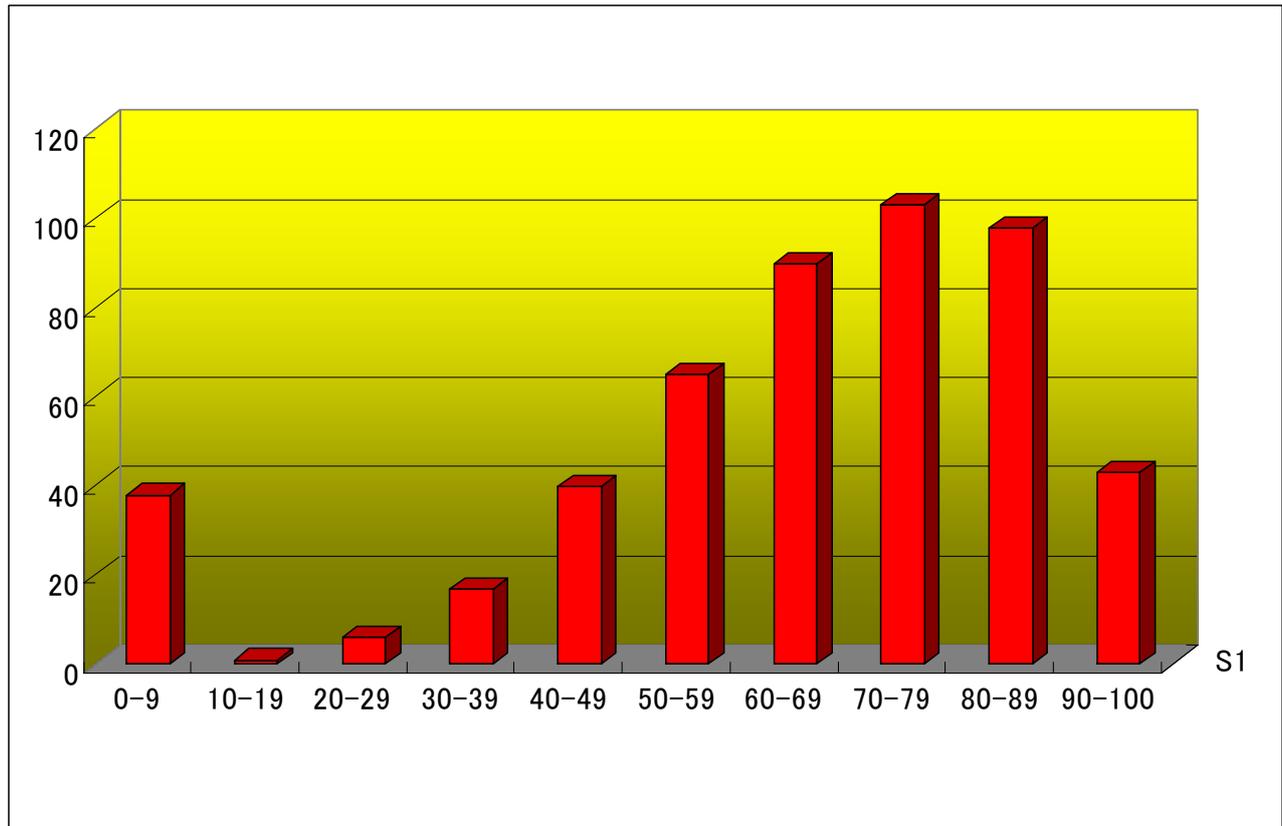
経済モデルによる説明(10)

グラフのみの場合(Max5)、軸や曲線の意味が示されていない場合(-2)

集計結果

	問1		問2			合計
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	
配点	20	20	20	20	20	100
平均点	14.5	10.2	14.2	14.0	10.1	63.2

ヒストグラム (合計点、素点)



成績評価

以下の比率で相対評価

秀	優	良	可	不可
6%	27%	38%	14%	15%

注: 不可は不受験者を含む